



輛の浦学園だより

No.3

2021年（令和3年）5月7日



輛の浦学園は、素敵な大きな家族なのです！ ～「つながり」を大切に～

新型コロナウイルスが全国的に日常生活を揺さぶっています。福山市でも、今日から1ヶ月を「緊急対処期間」と位置付け、市民の接触機会の減少などに集中的に取り組むと市長が表明されました。感染予防の徹底に、引き続き取り組みます。

ところで、北校舎の階段には8年生が7年生に伝えたメッセージが掲示してあります。自分の経験を踏まえた温かいアドバイスが詰まっています。こうした取組は「つながり」を育てます。いくつか紹介します。

- ・ 7年生は、授業時間も部活も変わってきます。テストの点数も悪くなるので、しっかり復習して再テストも進んで行ってください！部活は本当に「継続は力なり」です。最初はできなくても絶対にできるようになって楽しくなります。
- ・ 7年生のみなさんへ、先輩と先生をなめないでください。でも、その人達の言うことが全てじゃないです。
- ・ 君らなら何でもできる。君らにしか描けない夢がある。君らだから描ける未来がある。君らが未来をつくって行く。君らが夢をつくって行く。夢は時々あきらめてもいい。ただ夢はいつも持って、でっかくただひたむきに走り続けて！

今朝、誰も登校していない教室の黒板にメッセージを見つけました。4月からスタートした「つくし学級」を家族にたとえています。

つくしはかぞく

かぞくは、たかめあう、みとめあう
かぞくは、「いいね」「いけないよ」がいえる
かぞくは、きもちをわかってくれる
かぞくは、じぶんのことのようにかんがえてくれる
すてきな かぞくになってきたね。



一人一人の成長を実感している担任の喜びを感じます。輛の浦学園は、大きな家族なのです。子どもも教職員も「つながり」を大切に、時には一緒に笑い、時にはけんかして一緒に涙を流す。安心して学べる、安心して過ごせる家族なのです。

輛の浦学園での1か月間を振り返って・・・

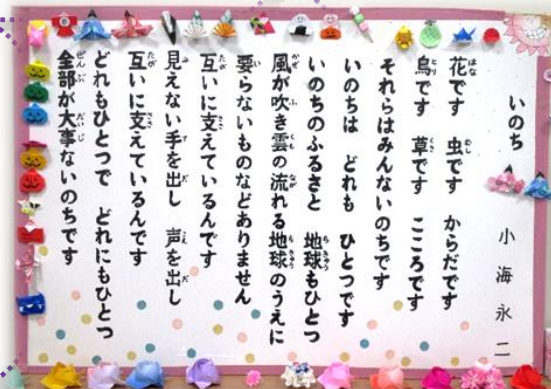
新学期が始まって1か月が過ぎました。12人の新しい仲間と本校に赴任した4人の教職員にとって、どんな1か月だったのか感想を聞いてみました。環境の変化は、新たな出発の良い機会となりますが、慣れない環境で気を遣うことも多かったはず。「輛の浦学園で共に過ごせてよかった。」と思える1年になりますように！

輛の浦学園に来てよかったこと・うれしかったこと

・ 休憩時間にラグビーを一緒にして楽しかった。「これはここだよ。」と教えてくれてうれしかった。
(転入児童)

・ 慣れないことが多く大変だったけど、いいこともあった。
・ みんな優しく、気軽に話しかけてくれるので安心できた。
(転入児童)

・ 「輛学」が楽しい！
・ 先輩が分からないことを優しく教えてくれたり、迷子になったとき、下級生が場所を教えてくれたりしたことがうれしかった。
(7年生)



・ 友達ができたのが嬉しかった。
・ 人をいじめる人がいないので輛の浦学園に来て良かった。
・ 学年関係なく優しいのが良かった。
(7年生)

・ 素直な子ども達に出会えたことに感謝。共に成長していきたい！
・ 子ども達の笑顔に癒され、学習する姿勢に元気をもらっている。
・ 輛の浦学園の先生方、子ども達に出会えたこと、温かく迎えられたことが嬉しかった。
(職員)

3名の交通指導員さん、よろしくお願いします！



吉本 明夫さん
コミュニティー前にて



倉田 幹生さん
学校坂下にて



片岡 正廣さん
四ツ角にて